

第3話：川根本町って「アツい！」

最近、農林業センターでの農作業の他、平田でカヌーに乗ったり、奥泉で茶手揉み保存会の夏期講習に参加したり、上長尾でそばを打ったり、また、1日おきに徳山の盆踊りの練習に参加したり、と色々な所に出発しています。今回は、そんな色々な体験の中で感じた、様々な「アツさ」のことを話したいと思います。

まずは、草取りをしているときの西日の「暑さ」。びたびたと肌に張り付くような感じで、あとひと踏ん張りして1日が終わるんだと思わせてくれます。

次にカヌーの「熱さ」。湖面を音もなく進んでいく川根高校カヌー部のみなさんを見たとき、何て静かなスポーツなんだと思いました。でも、いざ自分がやってみると、バチャバチャ水をかぶり、少しでも他のことを考えると、くるくる回ってしまい、前に進みません。

あの静かさにたどり着くためには膨大な練習量と、強い精神が必要だ！と感じ、カヌーの「熱さ」に呆然としてしまいました。

お茶の手揉みの「熱さ」。熱いほいろの上で刻一刻と変化していく茶葉。口では「えらい、しんどいなあ」と言いつつも、決して手を抜かない、おばちゃん・おじちゃんち。言い出せない会場の空気。自分の日々のぬるさ加減を思い知ると同時に、こんなに非日常的で、目が離せなくて、真剣になってしまう場所があったのかと驚きました。

こんなに集中できる事に出会えて良かったなあと、しみじみ感じる瞬間でした。

まだまだ私が感じた「アツさ」は多々ありますが、今日の所はこのあたりで。

では、また来月！！



平田でカヌーの奥の深さに思いをはせる石井さん

みなさんの「声」をご紹介します

広報の「慶弔欄」の復活を！

ペンネーム…広報ファンの一町民さん

5・7月号の「声」にあるように、亡くなった方の氏名をぜひ広報で知らせたいと思います。広報が楽しいばかりでなく「暮らしに役立つ」ものとなるよう期待しています。ところで編集者の写真技術はなかなかですね。がんばって！

私は2人の子供を持つ母親です

ペンネーム…匿名希望さん

私は2人の子を持つ母です。この頃、何の非もない子どもが傷つけられる事件が多く起きています。そして、それは、都会に限らず、こんな所で…という場所です。この川根本町も大部分が共働きの家庭だと思っています。学校が終わったあとや、長期の休みの時

など、おじいちゃん・おばあちゃんなどが見てくださる方はいいいのですが、中にはそれできない家庭もあると思います。今現在、私の子どもたちは幸せなことに祖父母に見てもらっています。その負担は、かなりあり、いつまで頼めるだろうか？と不安になります。

ブチママ教室にて 本文とは関係ありません



を持つ親のみなさんは、どうお考えなのでしょう。今、シルバークーパーをお借りしたりして、このような子どもを預かってくれるところがあるようです。

そこで、子どもたちを預かってくれる所をつくれないうか？ また、同じような子ども

この町でも、そういった取り組みができないものなのでしょうか？町の広報誌を見たみなさんが考えてくださると嬉しいのですが…。

やまめっ子クラブさんからハガキが届きました。こちらこそ、取材にご協力いただきありがとうございます！



夏のカンカン照りの下 はしゃぎ 笑い 飛び回り 泳ぎ 上の子も下の子も無い みんな一緒にのって楽しんでいる。 そんな子供たちの姿、久しぶりに見ました。 それもこれも皆様方のご協力がありましてのこと 厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

やまめっ子クラブ-107



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

—このかけがえのない地球を守るために、一人一人ができること—